

心も体も癒される

「畳」のある暮らしをはじめよう

日本の暮らしとともにある「畳」。近頃はフローリングの住まいが主流になっていますが、デザイン性の高い畳が登場したり、海外での畳人気が高まったりと復活の兆しを見せています。また、“和室”にこだわらず、リビングの一部を畳スペースにしたり、インテリアとして楽しむ人も増えてきています。畳の特性や効果を知り、日々の暮らしに取り入れてみませんか。



お部屋に畳を

インテリアのポイント

畳は緑の色や模様を変えるだけでも雰囲気が変わります。また、和室がなくても置き畳などを利用することで、和の雰囲気を楽しむことができます。

- 緑なし畳を使うことで、落ち着いた雰囲気のと室がぐっとモダンな印象に。
- カラー畳を組み合わせることで、個性的でオシャレな空間に仕上がります。
- フローリングには、ラグやカーペット感覚で“置き畳”を置くだけで、お部屋のイメージがガラリと変わります。子供部屋にもおすすめ。



● 畳の原料“い草”とは？

伝統的な畳の表面には“い草”が使われています。別名をトウシンソウといい、細長い茎をした多年草の植物です。古くは薬草として用いられていたほか、食用としても栄養価が高く、現在ではい草を使ったアイスクリームや麺なども人気があります。また、香りがよいことから、ちまきや笹巻き寿司の紐にも利用されています。国産のものは8割から9割が熊本県産です。

● 地域によって畳の大きさも違う

畳1畳分の大きさは地域によって異なります。一番大きいものは「京間」と呼ばれ、主に西日本で使われています。続いて東海地方に多い「中京間」、北海道から関東までは「江戸間」、一番小さい「団地間」は地域に関係なく自治体が運営する公共団地などで使われているサイズです。京間と団地間を比べると、6畳間の場合で約2.7㎡もの差ができるといいます。

い草を使った畳にはこんな効果も

夏涼しく、冬暖かい

調湿性や断熱性に優れているので、一年を通じて快適に過ごせます。

空気を浄化

シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを吸着して、空気をきれいにしてくれます。二酸化窒素を除去する効果も。

足腰への負担を軽減

適度な弾力性があり、転んでもケガをしにくいことから、お子さんや高齢者のいるご家庭にもおすすめ。

香りに癒される

い草の独特な香りにはアロマセラピー効果があり、ストレスを和らげてくれます。

多彩で個性的な畳の種類

色も形もさまざまな畳。お部屋や用途に合わせて選んでみては。

緑あり畳

畳の緑は好みに合わせて素材や色、模様を選ぶことができます。また、畳数や用途によって敷き方が異なり、祝儀／不祝儀で畳の向きを変えるという習わしも。

緑なし畳

一般的には半畳の畳や正方形で緑のない畳のことをいいます。最近人気の琉球畳なども緑なし畳の仲間です。

多彩な色

天然のい草は穂先と根元で色が違うため、使う部位や編み方によって畳の色柄に変化が生まれます。琉球畳の場合、色の違うものや目の方向を変えて並べることで、市松模様のようなデザインに。パステルカラーやブラックなど、染色したカラー畳も人気です。

い草を使わない「畳」も登場

い草のかわりに、和紙や樹脂を使ったタイプも多く登場しています。い草特有の香りこそないものの、見た目はい草とほとんど変わりません。デザインも豊富で耐久性や撥水性に優れたものが多く、ダニや日焼けの心配が少ないことも特徴です。



ビニール製のものは
雨み合わせも
自由自在に